

オールセラミッククラウンのインプラント上部構造体への応用

東濃支部 今井圭太

当科でインプラント治療が行われるようになり10年ほどになるが上部構造体はハイブリッドレジン前装冠で作成してきた。しかし経時的変化、特に艶に関しては早期に喪失する。そのため近年導入に至ったプレスセラミック冠を上部構造に応用し審美性に対する補強ができないかと思うに至った。プレスセラミックは導入以来多くの患者に満足頂いている。またインプラントの患者は自費診療の患者の中でも特に審美的要求が高い傾向があるため診療室からのセラミック冠が応用できないか要望があった。

上部構造体の構成はアバットメントと上部構造体を分離して製作する3ピース法と一体で作成する2ピース法があるが前歯部ではアクセスホールが表面に位置することが多く2ピース法は審美的に問題がある。また、2ピース法は口腔内での調整が困難なので診療室は3ピース法で作成された物を要望している。以上のことから3ピースでの作成が望ましいが3ピースのインプラント上部構造体はメンテナンスの際にセメント合着されたものを撤去する必要があり、従来ハイブリッド前装冠の場合はメタルキャップの舌側部分に撤去用のピンホールを設けていた。オールセラミック冠の場合は撤去の際の衝撃で割れてしまう。そこで今のところ当科で施術できる2つの方法が考えられる。

1. 複数のオールセラミック冠を作成しメンテナンスごとに新しいものを使用する。
2. 金属のキャップを作製、介在させた上にオールセラミック冠をセメント合着する。

当科では2の方法を採用し複数例を作製している。

「岐阜県技のホームページ更新の現在と私の技工アイデア」

岐阜県歯科技工士会 東濃支部 水野正春

岐阜県歯科技工士会のホームページの管理を担当してから10年ほど経過しました。以前、ホームページの構成や作成ソフト使用法等、かんたんに講演させていただきましたが、今回は実際に更新作業をシュミレーションしたいと思います。作業内容をみなさんと共有し、今後、新しく管理者になる方、自身のラボや個人のホームページ作成の一助になればと思います。

時間が許せば私自身の技工でのアイデアの紹介。それと私がPCに関しての質問をよく受けることから、その対策等も紹介できたらと思います。